

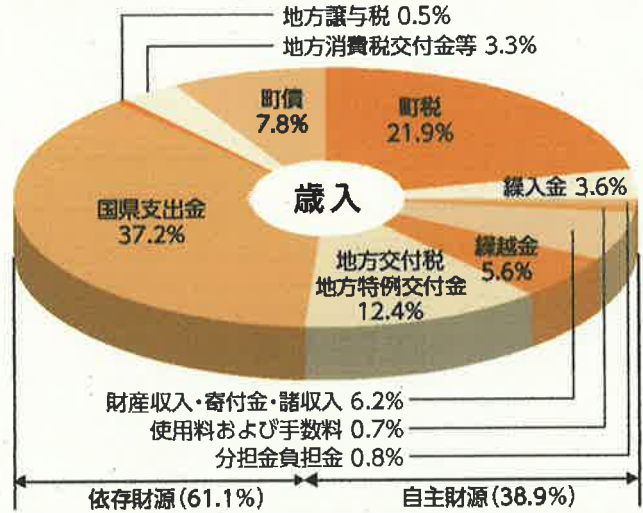
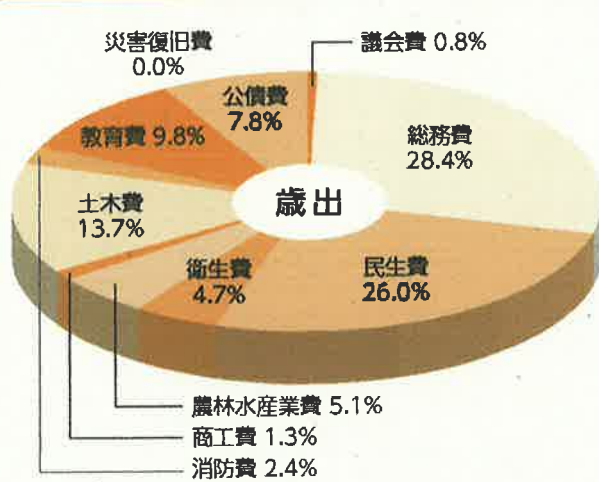
歳出総額

72億4613万4千円

歳入総額

77億7916万6千円

嘉島町 2020 (令和2) 年度一般会計決算



議会費	6098万0千円
総務費	20億5720万6千円
民生費	18億8628万4千円
衛生費	3億4167万5千円
農林水産業費	3億6862万8千円
商工費	9388万1千円
土木費	9億9123万2千円
消防費	1億7374万4千円
教育費	7億0762万8千円
災害復旧費	0円
公債費	5億6487万6千円
<b>2020年度 歳出決算額</b>	<b>72億4613万4千円</b>

町税	17億0378万5千円
繰入金	2億8252万6千円
分担金負担金	6351万5千円
使用料および手数料	5491万5千円
財産収入	5274万5千円
繰越金	4億3349万2千円
諸収入	5510万6千円
寄付金	3億7671万6千円
地方交付税	9億4300万1千円
地方特例交付金	2192万4千円
国県支出金	28億8995万6千円
地方譲与税	4119万2千円
利子割・配当割交付金	330万6千円
法人事業税交付金	1287万5千円
株式譲渡所得割交付金	266万8千円
地方消費税交付金	2億3331万7千円
環境性能割交付金	283万9千円
交通安全特別対策交付金	198万5千円
町債	6億0330万3千円
<b>2020年度 歳入決算額</b>	<b>77億7916万6千円</b>

2020年度  
嘉島町特別会計決算

国民健康保険	歳入	10億4053万5千円
	歳出	10億0981万4千円
住宅新築資金等	歳入	63万8千円
	歳出	5万0千円
介護保険	歳入	9億0012万4千円
	歳出	8億4668万1千円
公共下水道事業	歳入	5億5743万5千円
	歳出	5億1640万8千円
後期高齢者医療	歳入	1億3472万0千円
	歳出	1億2873万0千円
簡易水道	歳入	4062万4千円
	歳出	2618万6千円

2020年度  
町の主な事業

- 施設型給付費扶助 5億5895万6千円
- 児童手当扶助 1億9970万5千円
- 道路橋梁新設改良事業 1億8280万4千円
- 東部台地土地区画整理事業 1億5589万6千円
- 西小校舎増築事業 1億3197万円
- 上益城消防組合負担金 1億2975万3千円
- 障害者自立支援給付費扶助 1億1760万4千円

歳入 8.6%減

# 町債半減 町税は微減

歳出 10.3%減

# コロナ対策 弾力的に

嘉島町の2020(令和2)年度一般会計ならびに国民健康保険はじめ六つの特別会計の決算が、9月定例町議会(9月3~7日)でいずれも原案通り認定されました。新型コロナウイルス感染症拡大への対応を余儀なくされた町一般会計ですが、規模的には歳出が震災復旧で膨らんだ17年度さえ上回って80億円を突破した前年度から率にして2桁の大幅ダウン、歳入も減額となりました。

## 歳入

20年度町一般会計の歳入総額は77億7916万6千円で、前年度から8・6%もダウン。歳入の柱である町税は17億378万5千円、対前年度比0・15%の微減。コロナの影響が否めないものの、構成比的には21・9%で前年度を1・9%上回りました。災害関連の事業が減って町債(一般家庭の借入金)を6億330万3千円にほぼ半減。総合運動公園の拡張整備で前年度、2・5倍近くまで跳ね上がった国県支出金は28億8995万6千円で対前年度比4・4%減。総額30億2280万円の自主財源の構成比は38・9%と

前年度から0・8%アップ。税の未収額が2152万円に。町は具体的な滞納整理方針を定め、徴収態勢を強化するなど税の適正・公平を期して滞納を一掃していく方針です。

## 歳出

歳出は総額72億4613万4千円で、前年度(80億7667万7千円)から8億3054万3千円、率にして10・3%減。コロナ対策の関連事業に伴って総務費が前年度から2・34倍の20億5720万6千円で最も多くなりました。一方、土木費が9億9123万2千円へ24億837万1

千円もの減額。これを裏付けるように前年度、2倍超に膨らんだ投資的経費の構成比が47・0%から15・9%に大幅ダウン。また、義務的経費のうち人件費は対前年度比1・10%減に抑え込みましたが、福祉関

## 特別会計

町の特別会計は国民健康保険はじめ六つ。20年度の特別会計決算は歳入総額26億7407万6千円で対前年度比4・96%減で、同6・40%減の歳出総額は25億2786万9千円でした。

連の扶助費が11億5340万2千円、借入返済の公債費も5億6487万6千円にそれぞれ2億1480万9千円、1億7871万2千円もの増額となるなど必要経費がかさんできています。

気掛かりなのは、国保の医療費。一般被保険者1人当たり年額43万6458円と前年度から1万5136円、率にして3・59%の増加。また、高齢者数の増加に伴い、介護保険の保険給付費が前年度から4・8%増で7億円を突破、7億2510万1893円に。

## 震災復興、コロナ禍…果敢な財政運営に尽力

荒木町長からの厳命「財政規律の厳守」もあり、コロナ禍の20年度決算は健全度4指標をいずれもクリア。

将来の負債が占める割合を示す「将来負担比率」が62.0%と6.7%改善したとはいえ、標準財政規模に占める借金返済の割合「実質公債費比率」は前年度の7.6%から8.5%へジワリ上昇。収入に対する人件費や社会保障費など経常的に必要な費用の割合「経常収支比率」も98.2%と前年度比1.7%アップし、財政硬直化の懸念は否めません。

震災復興、コロナ対策など高いハードルが相次ぎますが、財政の弾力性担保に努め、今後も果敢に対応してまいります。(財政係)